

景況・経営動向調査結果

－ 令和4年度 第3四半期（2022年10～12月期） －

■ 目 的 ■

会員事業所の経営動向・業況を知ることにより、長崎市内の景況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

■ 調査対象 ■

本所会員事業所のうち、5産業（製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業）400社
（回答197社、回収率49.3%）

※業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

■ 調査期間 ■

令和5年1月17日～令和5年1月27日

■ 調査方法 ■

郵送・E-mailによるアンケート方式

■ 分析方法 ■

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行なった

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 ⇒ 従業員20人以下

商業・サービス業 ⇒ 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

2022年10～12月期の実績は、全産業ベースで▲9.8〔前回(10月)調査比+3.7〕

2023年1～3月期の見通しは、全産業ベースで▲11.9〔今期実績比-2.1〕

業界の景気動向(景況感)の調査結果をみると、製造業は0.0(前回調査比+8.4ポイント)、非製造業は▲11.3(同+2.8ポイント)と、ともに改善した。

また、2023年1～3月の見通しは、製造業は8.0(今期実績比+8.0ポイント)で改善の見通しとなったものの、非製造業は▲14.9(今期実績比-3.6ポイント)と悪化の見通しとなった。

会員事業所の業況(自社業況の総合判断)

2022年10～12月期の実績は、全産業ベースで▲4.8〔前回(10月)調査比+8.2〕

2023年1～3月期の見通しは、全産業ベースで▲7.0〔今期実績比-2.2〕

■売上・生産額	今期実績▲3.5(+6.3)	来期は製造業はプラス・非製造業はマイナス水準の見通し
■利益・採算面	今期実績▲13.6(+4.8)	来期は製造業・非製造業ともにマイナス水準の見通し
■資金繰り	今期実績▲6.8(+3.7)	来期は製造業・非製造業ともにマイナス水準の見通し
■設備投資	今期実績▲13.2(-3.0)	来期は製造業・非製造業ともにマイナス水準の見通し
■雇用状況	今期実績▲26.3(-6.2)	来期は製造業・非製造業ともに不足の見通し
■経営上の問題点	全産業ベースで再び「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップに	

※ 上記()内の数字は前回調査比

産業天気図 < 自社業況の総合判断：前年同期比 >

	10～12月期 実績		1～3月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲4.8		▲7.0
製造業		4.2		12.5
非製造業		▲6.2		▲9.8
建設業		▲21.2		▲25.0
卸売業		9.6		▲21.8
小売業		▲13.5		▲9.8
サービス業		3.5		3.5
小規模企業等		▲13.7		▲9.7

- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上～100
	25以上～50未満
	0以上～25未満
	▲25以上～0未満
	▲50以上～▲25未満
	▲100～▲50未満

前年同期（2021年10～12月期）と比較して

2022年10～12月期 実績
全産業 ▲9.8〔前回調査比+3.7〕

全産業ベースで見ると、▲9.8（前回調査比+3.7）となった。

業種別にみると、製造業は0.0（同+8.4）。非製造業は、建設業（同-0.9）で悪化したものの、卸売業（同+11.5）、小売業（同+3.4）、サービス業（同+1.6）で持直しの動きが見られ、非製造業全体で▲11.3（同+2.8）となった。

また、小規模企業等は▲14.7（同+7.7）となった。

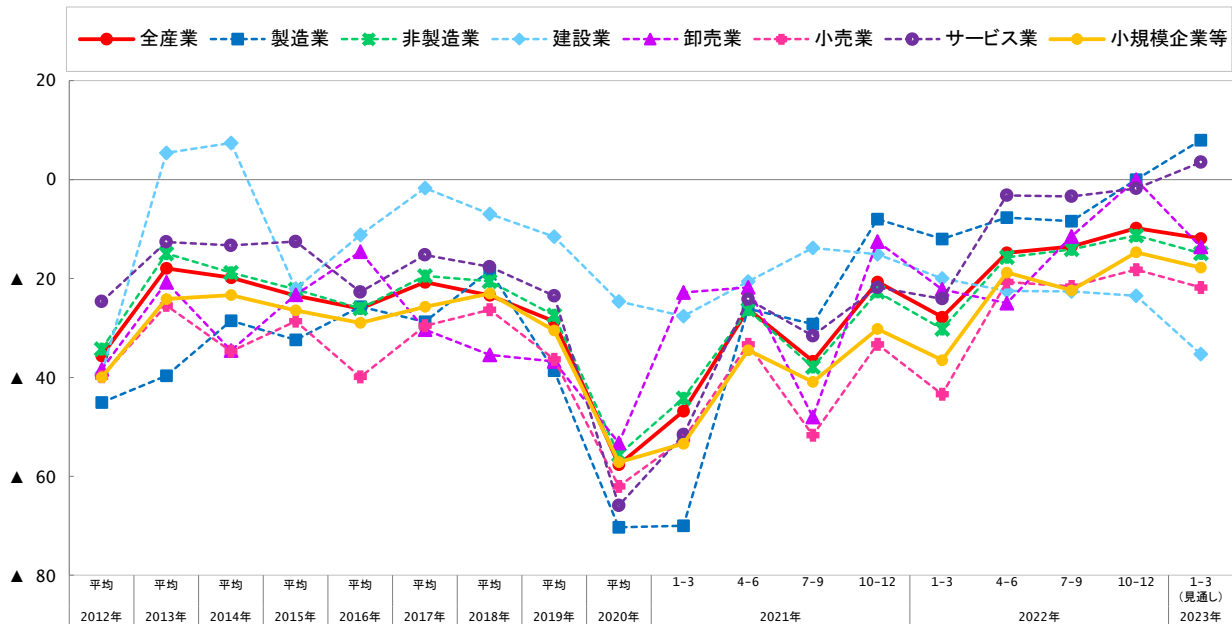
2023年1～3月期 見通し
全産業 ▲11.9〔今期実績比-2.1〕

全産業ベースで見ると、▲11.9（今期実績比-2.1）となった。

業種別にみると、製造業は▲8.0（同+8.0）。非製造業は、サービス業（同+5.3）で持直しの動きもあるが、建設業（同-11.8）、卸売業（同-13.6）、小売業（同-3.6）で悪化の見通しとなり、非製造業全体では▲14.9（同-3.6）となった。

また、小規模企業等は▲17.8（同-3.1）となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前期（2022年7～9月期）と比較して

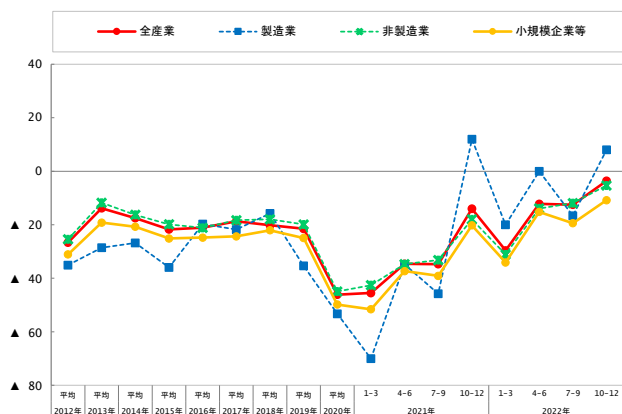
2022年10～12月期 実績
全産業 ▲3.6〔前期比+8.9〕

全産業ベースで見ると、▲3.6（前期比+8.9）となった。

業種別にみると、製造業は8.0（同+24.6）と持直しの動きが見られた。非製造業は、建設業（同+1.7）、卸売業（同+13.0）、小売業（同+2.3）、サービス業（同+11.8）と全業種で持直し、非製造業全体で▲5.3（同+6.6）となった。

また、小規模企業等は▲10.8（同+8.6）となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前年同期（2021年10～12月期）と比較して

2022年10～12月期 実績
全産業 ▲4.8 [前回調査比+8.2]

全産業ベースで見ると、▲4.8（前回調査比+8.2）となった。

業種別にみると、製造業は4.2（同+16.2）。非製造業は、建設業（同-5.1）で悪化したものの、卸売業（同+21.6）、小売業（同+6.8）、サービス業（同+8.5）でマイナス水準ながらも持直しの動きが見られ、非製造業全体で▲6.2（同+6.8）となった。

また、小規模企業等は▲13.7（同+8.6）となった。

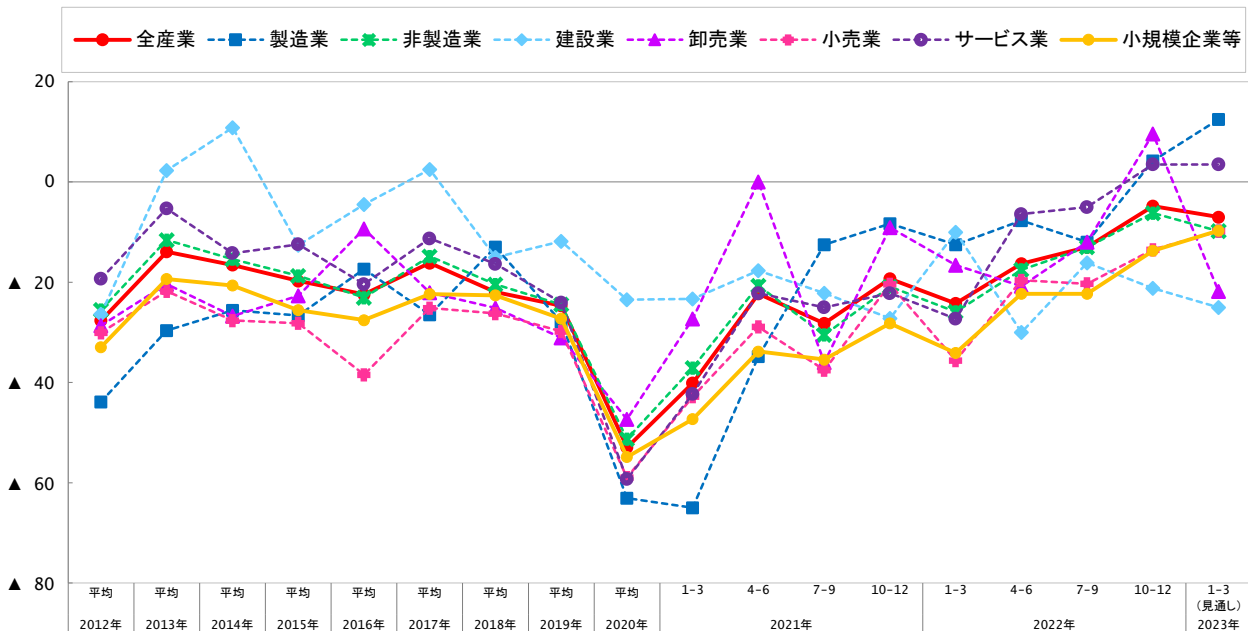
2023年1～3月期 見通し
全産業 ▲7.0 [今期実績比-2.2]

全産業ベースで見ると、▲7.0（今期実績比-2.2）となった。

業種別にみると、製造業は12.5（同+8.3）。非製造業は、サービス業（同±0.0）で横ばい、小売業（同+3.7）で持直しの動きが続く見通しとなったものの、建設業（同-3.8）と卸売業（同-31.4）で悪化の見通しとなり、非製造業全体で▲9.8（同-3.6）となった。

また、小規模企業等は▲9.7（同+4.0）となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前期（2022年7～9月期）と比較して

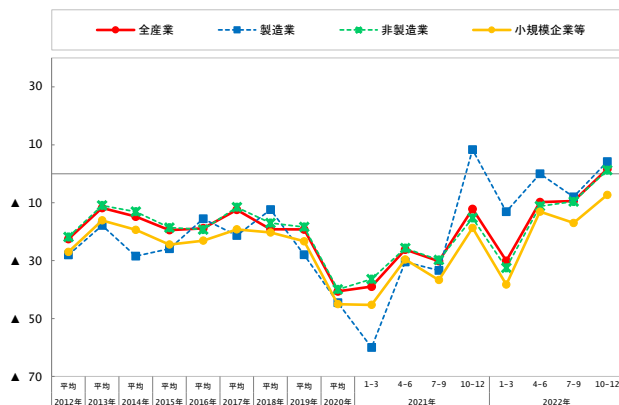
2022年10～12月期 実績
全産業 1.6 [前期比+11.0]

全産業ベースで見ると、1.6（前期比+11.0）となった。

業種別にみると、製造業は4.2（同+12.2）。非製造業は、建設業（同+3.2）と卸売業（同+14.2）、小売業（同+18.0）とサービス業（同+6.9）と全業種で持直しの動きが見られ、非製造業全体で1.2（同+10.8）となった。

また、小規模企業等は▲7.3（同+9.7）となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前年同期（2021年10～12月期）と比較して

2022年10～12月期 実績
全産業 ▲3.5〔回調査比+6.3〕

全産業ベースで見ると、▲3.5（前回調査比+6.3）となった。

業種別にみると、製造業は11.5（同+15.2）。非製造業は、建設業（同-5.0）で悪化したものの、卸売業（同+29.0）、小売業（同+1.6）、サービス業（同+4.9）でマイナス水準ながらも持直しの動きが見られ、非製造業全体で▲5.7（同+5.0）となった。

また、小規模企業等は▲14.0（同+5.2）となった。

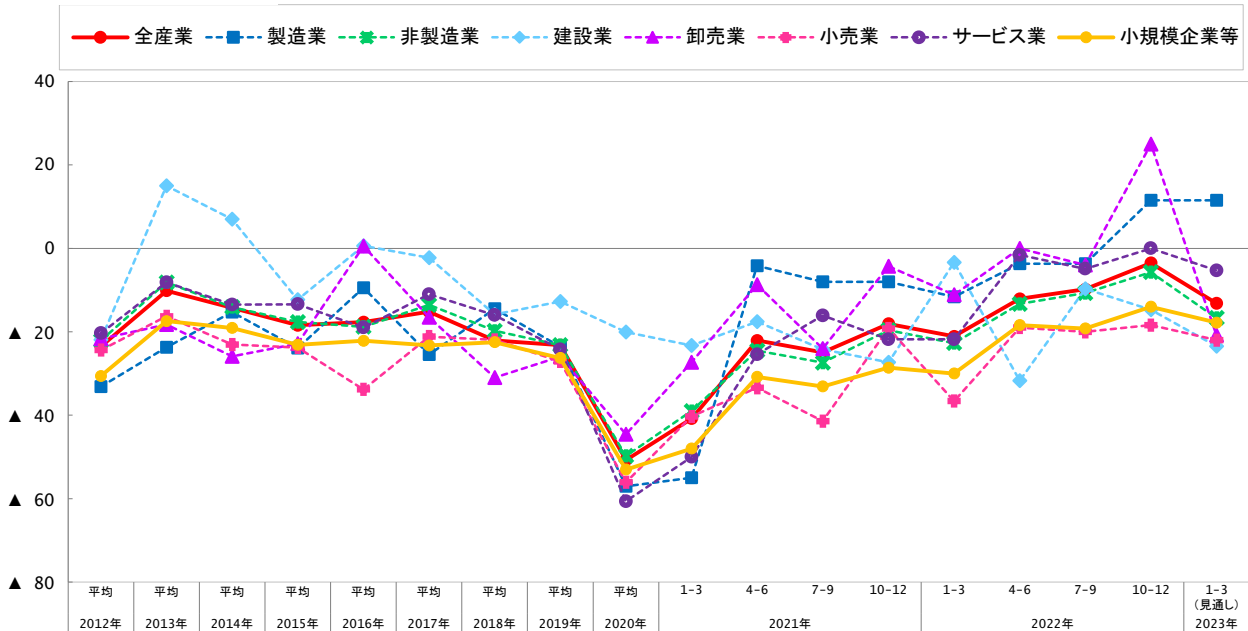
2023年1～3月期 見通し
全産業 ▲13.2〔今期実績比-9.7〕

全産業ベースで見ると、▲13.2（今期実績比-9.7）となった。

業種別にみると、製造業は11.5（同±0.0）と横ばいの見通し。非製造業は、建設業（同-8.8）、卸売業（同-45.8）、小売業（同-3.6）、サービス業（同-5.3）と全業種で悪化の見通しとなり、非製造業全体で▲16.7（同-11.0）となった。

また、小規模企業等は▲17.8（同-3.8）となった。

BSI：「増加」-「減少」



前期（2022年7～9月期）と比較して

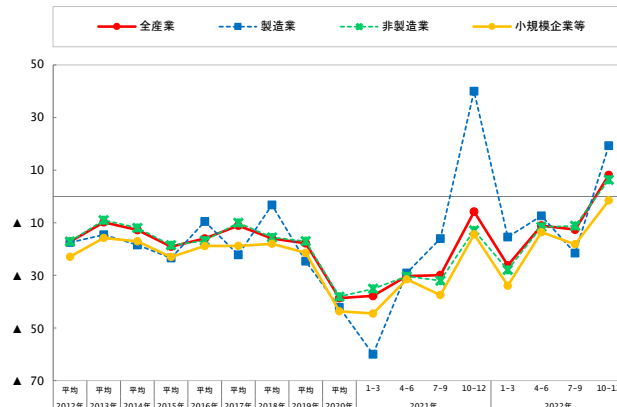
2022年10～12月期 実績
全産業 8.1〔前期比+20.7〕

全産業ベースで見ると、8.1（前期比+20.7）となった。

業種別にみると、製造業は19.3（同+40.8）と大幅に改善している。非製造業は、建設業（同+15.3）、卸売業（同+24.0）、小売業（同+14.8）、サービス業（同+18.7）と全業種で持直しの動きが見られ、非製造業全体で6.3（同+17.5）となった。

また、小規模企業等は▲1.5（同+16.7）となった。

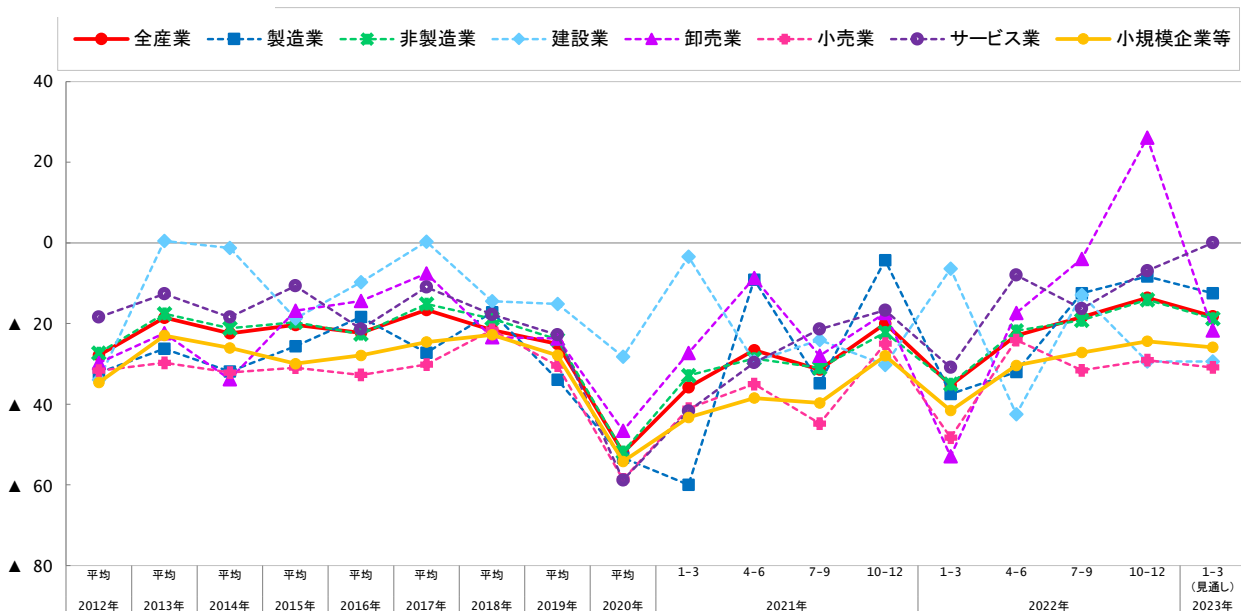
BSI：「増加」-「減少」



前年同期（2021年10～12月期）と比較して

2022年10～12月期 実績 全産業 ▲13.6 [前回調査比+4.8]	2023年1～3月期 見通し 全産業 ▲18.2 [今期実績比-4.6]
<p>全産業ベースでみると、▲13.6（前回調査比+4.8）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲8.3（同+4.2）。非製造業は、建設業（同-16.5）で悪化したものの、卸売業（同+30.1）、小売業（同+2.5）、サービス業（同+9.4）でマイナス水準ながらも持直しの動きが見られ、非製造業全体で▲14.1（同+5.1）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲24.4（同+2.8）となった。</p>	<p>全産業ベースでみると、▲18.2（今期実績比-4.6）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲12.5（同-4.2）と悪化の見通し。非製造業は、建設業（同±0.0）で横ばい、サービス業（同+6.9）で持直しの動きが続く見通しとなったものの、卸売業（同-47.8）で大幅に悪化し、小売業（同-1.8）でも悪化の見通しとなり、非製造業全体で▲18.8（同-4.7）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲25.9（同-1.5）となった。</p>

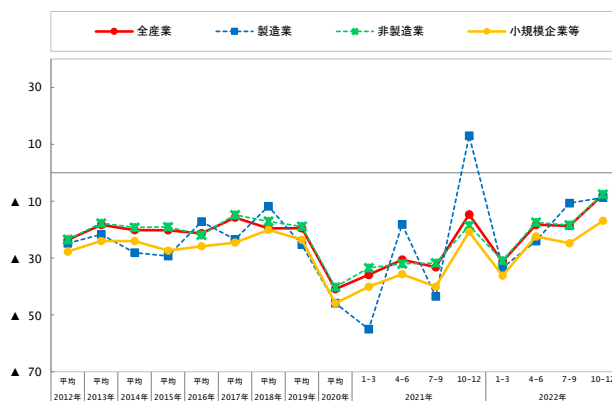
BSI：「好転」-「悪化」



前期（2022年7～9月期）と比較して

2022年10～12月期 実績 全産業 ▲7.8 [前期比+10.9]
<p>全産業ベースでみると、▲7.8（前期比+10.9）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲8.7（同+2.0）。非製造業は、建設業（同+0.9）と卸売業（同+20.3）、小売業（同+6.5）、サービス業（同+15.9）と全業種で持直しの動きが見られ、非製造業全体で▲7.6（同+10.8）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲16.9（同+7.9）となった。</p>

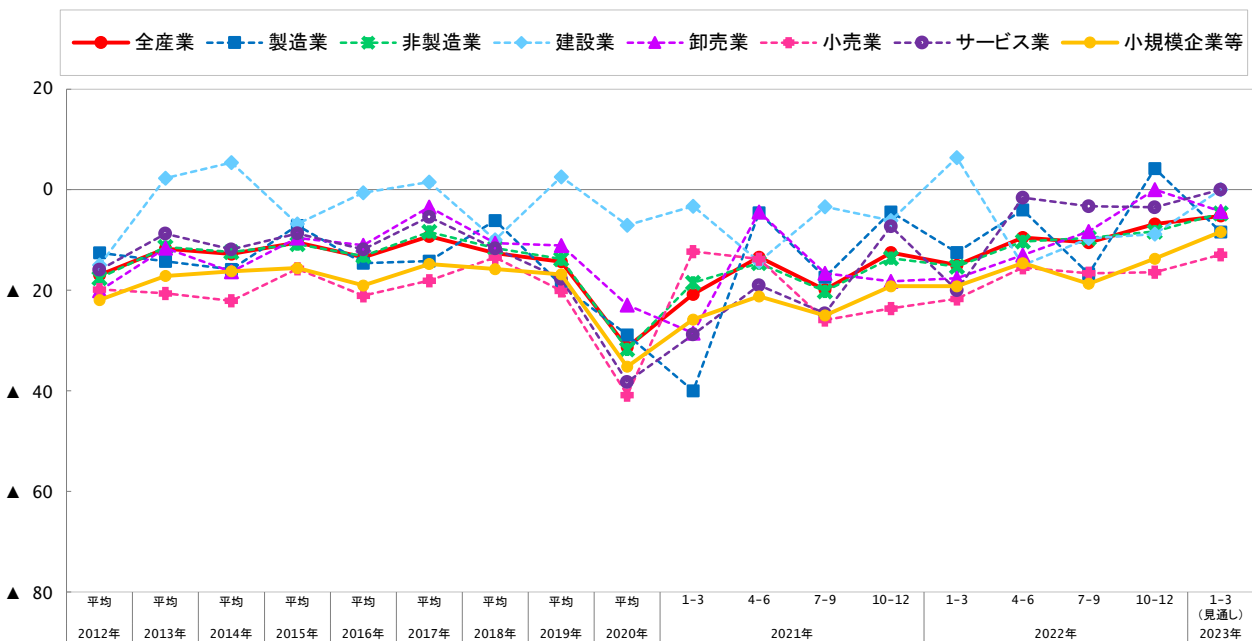
BSI：「好転」-「悪化」



前年同期（2021年10～12月期）と比較して

2022年10～12月期 実績 全産業 ▲6.8〔前回調査比+3.7〕	2023年1～3月期 見通し 全産業 ▲5.2〔今期実績比+1.6〕
<p>全産業ベースでみると、▲6.8（前回調査比+3.7）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は4.2（同+20.9）。非製造業は、サービス業（同-0.2）で悪化したものの、建設業（同+0.9）、卸売業（同+8.3）、小売業（同+0.2）で持直しの動きが見られ、非製造業全体で▲8.3（同+1.3）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲13.7（同+5.0）となった。</p>	<p>全産業ベースでみると、▲5.2（今期実績比+1.6）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲8.4（同-12.6）。非製造業は、卸売業（同-4.3）で悪化したものの、建設業（同+8.8）、小売業（同+3.5）、サービス業（同+3.5）で持直しの動きが続く見通しとなり、非製造業全体で▲4.7（同+3.6）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲8.4（同+5.3）となった。</p>

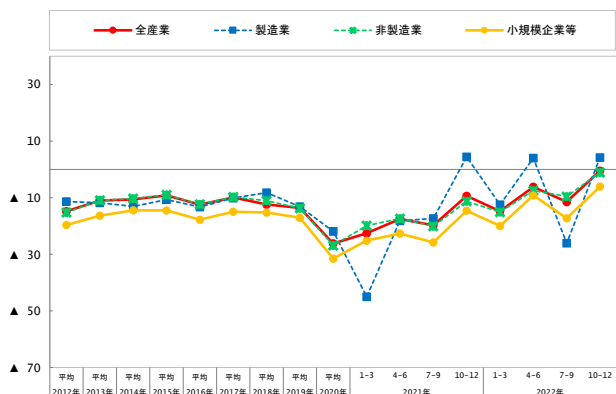
BSI：「好転」-「悪化」



前期（2022年7～9月期）と比較して

2022年10～12月期 実績 全産業 ▲0.5〔前期比+11.0〕
<p>全産業ベースでみると、▲0.5（前期比+11.0）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は4.2（同+30.3）と大幅に改善している。非製造業は、建設業（同+3.8）、卸売業（同+12.5）、小売業（同+7.8）とサービス業（同+10.1）と全業種で改善し、非製造業全体で▲1.1（同+8.5）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲6.1（同+11.2）となった。</p>

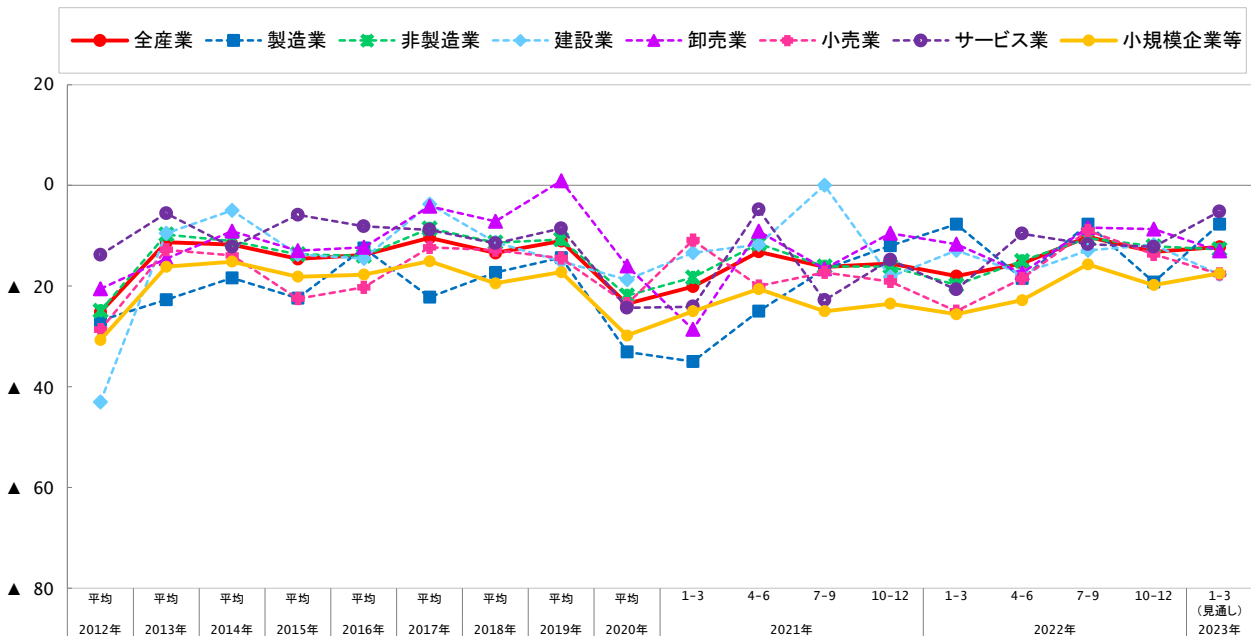
BSI：「好転」-「悪化」



前年同期（2021年10～12月期）と比較して

2022年10～12月期 実績 全産業 ▲13.2〔前回調査比-3.0〕	2023年1～3月期 見通し 全産業 ▲12.2〔今期実績比+1.0〕
<p>全産業ベースでみると、▲13.2（前回調査比-3.0）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲19.2（同-11.5）。非製造業は、建設業（同+1.1）で持直しの動きが見られたものの、卸売業（同-0.3）、小売業（同-4.7）、サービス業（同-0.5）で悪化し、非製造業全体で▲12.1（同-1.6）となった。</p> <p>また、小規模企業等は4.1ポイント悪化し、▲19.8となった。</p>	<p>全産業ベースでみると、▲12.2（今期実績比+1.0）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲7.7（同+11.5）。非製造業は、サービス業（同+7.0）で改善の見通しとなったものの、建設業（同-5.9）、卸売業（同-4.3）、小売業（同-3.9）で悪化の見通しとなり、非製造業全体で▲12.7（同-0.6）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲17.5（同+2.3）となった。</p>

BSI：「増加」-「減少」



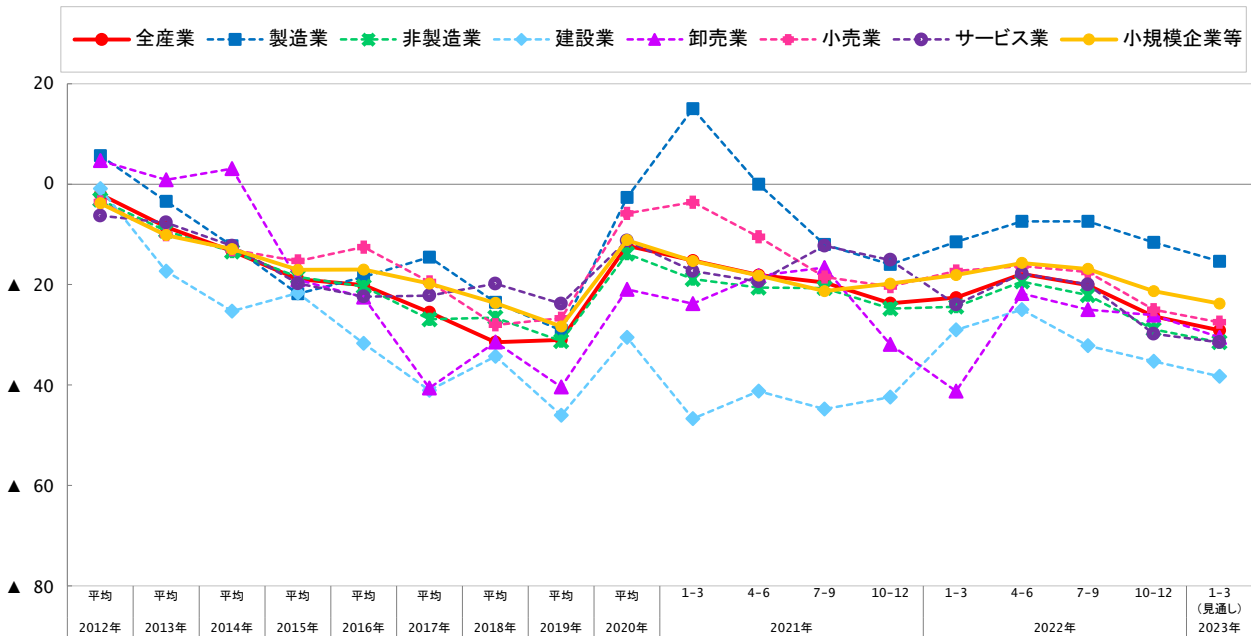
前期（2022年7～9月期）と比較して

2022年10～12月期 実績 全産業 ▲10.5〔前期比-0.9〕	BSI：「増加」-「減少」																																																																																										
<p>全産業ベースでみると、▲10.5（前期比-0.9）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲11.6（同-0.1）。非製造業は、卸売業（同+0.1）とサービス業（同+4.6）で持直しの動きがみられたものの、建設業（同-1.8）と小売業（同-6.5）で悪化し、非製造業全体で▲10.3（同-0.9）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲15.9（同-1.7）となった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>2012年 平均</th> <th>2013年 平均</th> <th>2014年 平均</th> <th>2015年 平均</th> <th>2016年 平均</th> <th>2017年 平均</th> <th>2018年 平均</th> <th>2019年 平均</th> <th>2020年 平均</th> <th>2021年 1-3</th> <th>2021年 4-6</th> <th>2021年 7-9</th> <th>2021年 10-12</th> <th>2022年 1-3</th> <th>2022年 4-6</th> <th>2022年 7-9</th> <th>2022年 10-12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>非製造業</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>小規模企業等</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	業種	2012年 平均	2013年 平均	2014年 平均	2015年 平均	2016年 平均	2017年 平均	2018年 平均	2019年 平均	2020年 平均	2021年 1-3	2021年 4-6	2021年 7-9	2021年 10-12	2022年 1-3	2022年 4-6	2022年 7-9	2022年 10-12	全産業	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	製造業	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	非製造業	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	小規模企業等	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
業種	2012年 平均	2013年 平均	2014年 平均	2015年 平均	2016年 平均	2017年 平均	2018年 平均	2019年 平均	2020年 平均	2021年 1-3	2021年 4-6	2021年 7-9	2021年 10-12	2022年 1-3	2022年 4-6	2022年 7-9	2022年 10-12																																																																										
全産業	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25																																																																										
製造業	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25																																																																										
非製造業	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25																																																																										
小規模企業等	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25																																																																										

前年同期（2021年10～12月期）と比較して

2022年10～12月期 実績 全産業 ▲26.3〔前回調査比-6.2〕	2023年1～3月期 見通し 全産業 ▲29.1〔今期実績比-2.8〕
<p>全産業ベースで見ると、▲26.3（前回調査比-6.2）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲11.6（同-4.2）。非製造業は、建設業（同-3.1）、卸売業（同-1.1）、小売業（同-7.5）、サービス業（同-9.8）と全業種で悪化し、非製造業全体で▲28.9（同-6.8）となった。</p> <p>また、小規模企業等は4.4ポイント悪化し、▲21.3となった。</p>	<p>全産業ベースで見ると、▲29.1（今期実績比-2.8）とマイナス水準が続く見通しとなった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲15.4（同-3.8）。非製造業は、建設業（同-3.0）、卸売業（同-4.4）、小売業（同-2.5）、サービス業（同-1.7）と全業種で悪化の見通しとなり、非製造業全体で▲31.5（同-2.6）となった。</p> <p>また、小規模企業等は2.5ポイント悪化し、▲23.8となった。</p>

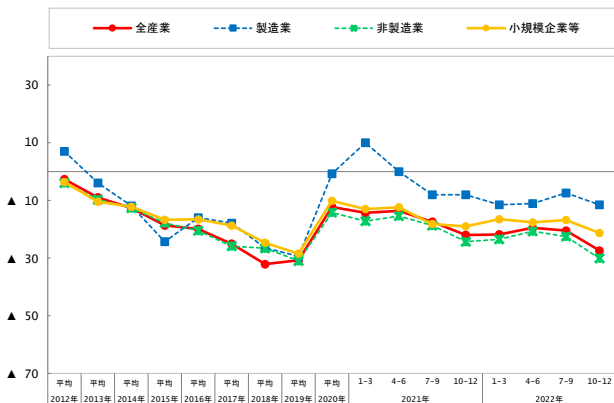
B S I : 「過剰」 - 「不足」



前期（2022年7～9月期）と比較して

2022年10～12月期 実績 全産業 ▲27.4〔前期比-6.9〕
<p>全産業ベースで見ると、▲27.4（前期比-6.9）となった。</p> <p>業種別に見ると、製造業は▲11.5（同-4.1）と悪化している。非製造業は、建設業（同-6.1）、卸売業（同-5.5）、小売業（同-7.5）、サービス業（同-8.4）と全業種で悪化し、非製造業全体で▲30.1（同-7.6）となった。</p> <p>また、小規模企業等は4.5ポイント悪化し、▲21.3となった。</p>

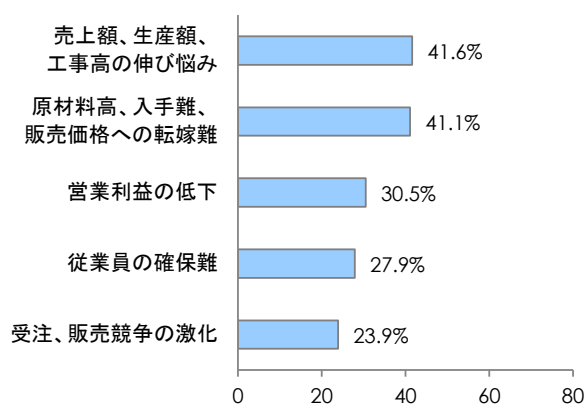
B S I : 「過剰」 - 「不足」



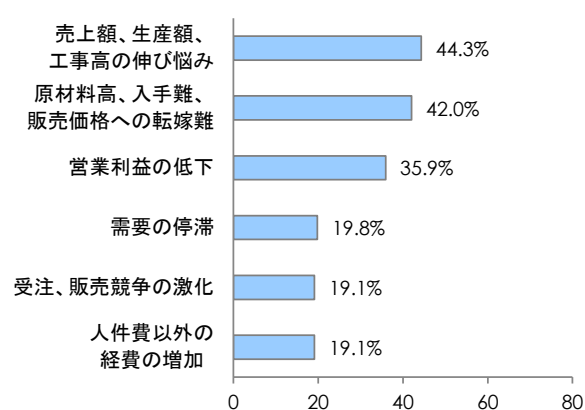
全産業ベースで見ると、今回は2009年4～6月期の調査開始以来（53期連続）のトップであった「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」（41.6%）が再びトップ。長引く新型コロナウイルス感染症の拡大が影響した。

また、前回トップであった「原材料高、入手難、販売価格への転嫁難」（41.1%）も引き続き根深い問題点となっている。

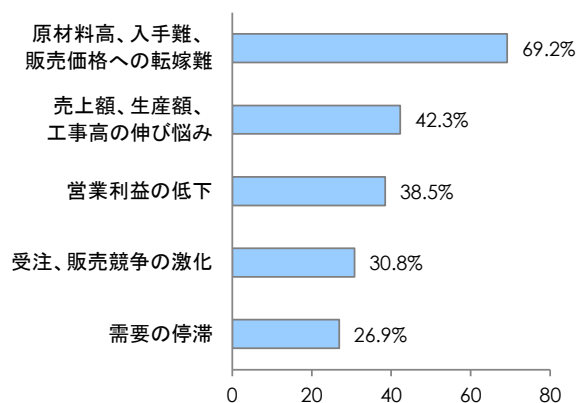
全産業



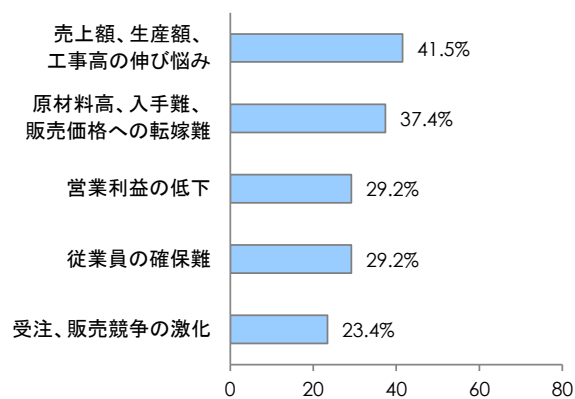
小規模企業等



製造業



非製造業



新型コロナウイルス感染症拡大を受け、企業への影響を調べるため、本調査を実施。192社（48.0%）より回答があった。

・令和4年10～12月の新型コロナウイルス感染症の影響による貴社の現在の経営状況について

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
悪化した	13	7.0	2	8.7	11	6.7	9	7.3
多少悪化した	30	16.0	7	30.4	23	14.0	25	20.3
変わらない	129	69.0	11	47.8	118	72.0	82	66.7
回復した	15	8.0	3	13.0	12	7.3	7	5.7
合計	187	100.0	23	100.0	164	100.0	123	100.0

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後、検討・計画している貴社事業の対応

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
既存事業の拡大・伸展・維持	52	27.7	8	32.0	44	27.0	32	26.0
事業再構築（業態転換、新分野進出等）	17	9.0	4	16.0	13	8.0	11	8.9
事業規模縮小	7	3.7	0	0.0	7	4.3	5	4.1
休業	2	1.1	0	0.0	2	1.2	2	1.6
廃業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	4	2.1	2	8.0	2	1.2	3	2.4
特になし	106	56.4	11	44.0	95	58.3	70	56.9
合計	188	100.0	25	100.0	163	100.0	123	100.0

・支援メニューのうち、令和4年10月以降に利用されたもの

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
融資（民間金融機関）	11	27.5	0	0.0	11	34.4	5	23.8
融資（日本政策金融公庫）	2	5.0	0	0.0	2	6.3	1	4.8
中小企業等事業再構築補助金（国）	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小規模事業者持続化補助金・一般型（国）	4	10.0	0	0.0	4	12.5	4	19.0
雇用調整助成金（国）	13	32.5	5	62.5	8	25.0	7	33.3
長崎県小規模省エネ等設備導入補助金（県）	3	7.5	2	25.0	1	3.1	2	9.5
長崎県緊急雇用維持助成金（県）	2	5.0	0	0.0	2	6.3	0	0.0
長崎市チャレンジ企業応援補助金（原油・原材料高騰対策型）（市）	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	5	12.5	1	12.5	4	12.5	2	9.5
合計	40	100.0	8	100.0	32	100.0	21	100.0

・エネルギー価格・原材料価格等の物価高騰に伴うコスト増について、価格転嫁できていますか

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
価格転嫁できている	61	36.7	6	25.0	55	38.7	40	38.8
価格転嫁できていない	89	53.6	13	54.2	76	53.5	56	54.4
その他	16	9.6	5	20.8	11	7.7	7	6.8
合計	166	100.0	24	100.0	142	100.0	103	100.0

・令和4年9月の西九州新幹線「かもめ」の開業によりどのような効果・影響がありますか

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
効果・影響がある	21	11.4	6	26.1	15	9.3	10	8.3
特になし	164	88.6	17	73.9	147	90.7	110	91.7
合計	185	100.0	23	100.0	162	100.0	120	100.0